

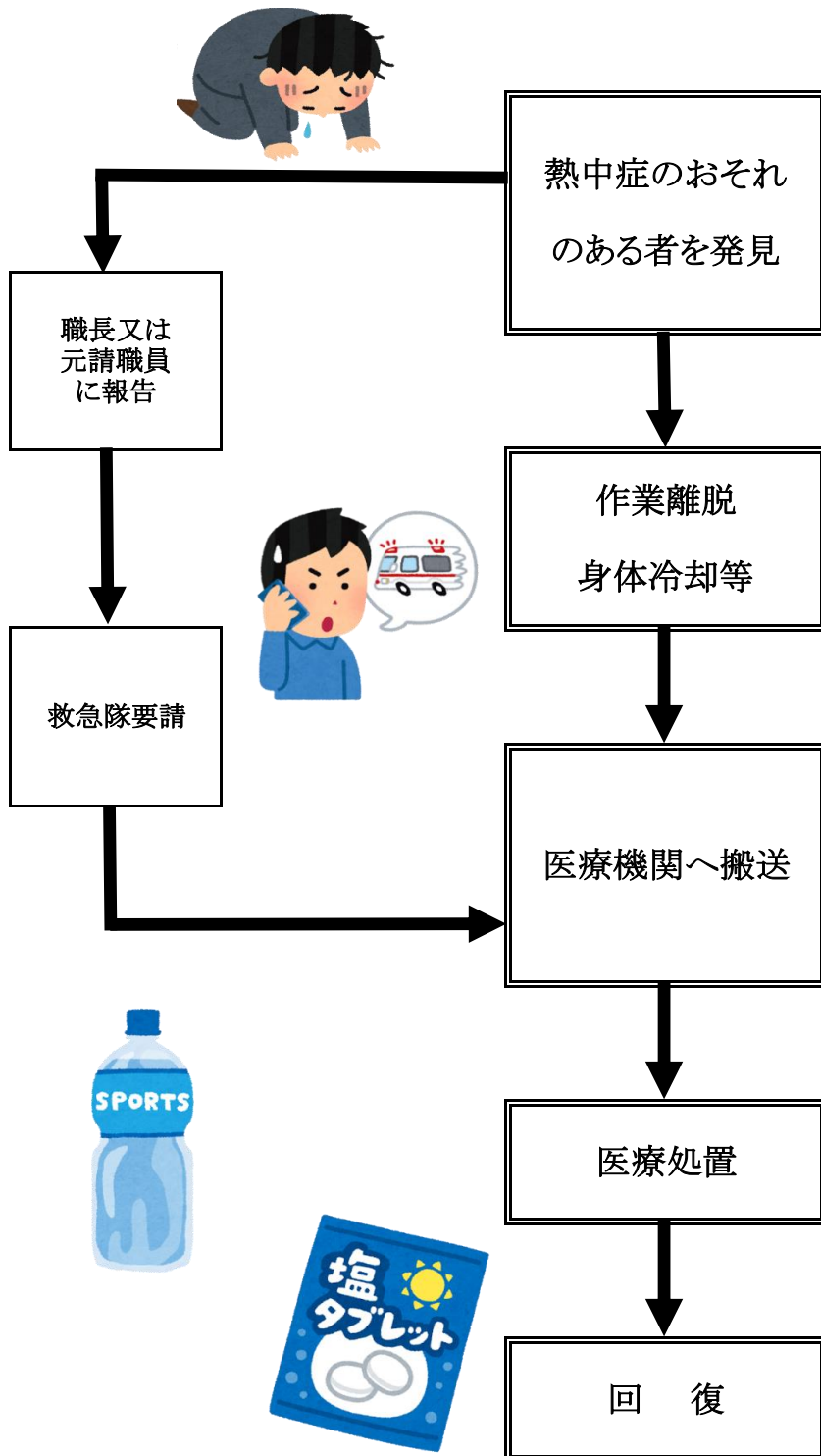
熱中症対処の実施手順

熱中症のおそれのある者に対する処置

会社名：

作業所名：

※「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間以上の実施」が見込まれる作業にあつては、下記の実施手順により、適切に対処すること。



熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】

ふらつき、生あくび、失神、
大量の発汗、痙攣等

【自覚症状】

めまい、筋肉痛・筋肉の硬直(こむら返り)、
頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温等

※・返事がおかしい

・ぼ～としている

など、普段と様子がおかしい場合も、
熱中症のおそれありとして取り扱う

救急隊到着までの注意事項

救急隊が到着するまでの間は、
決して一人にしない



医療処置後の注意事項

回復後の体調急変等により症状が悪化
するケースがあるため、連絡体制や体調
急変時等の対応をあらかじめ定めておく

連絡先：

担当者名：

連絡先 TEL：